2026 年 11 月 20 日

三菱地所株式会社
大阪ガス都市開発株式会社
オリックス不動産株式会社
関電不動産開発株式会社
積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店
阪急電鉄株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
うめきた開発特定目的会社
一般社団法人うめきた MMO

グラングリーン大阪「うめきたの森」本日開園、「ひらめきの道」全面開通

～JR 大阪駅前に“都市の森”が誕生。都心の新たな憩いの場が広がる～

三菱地所株式会社を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者 JV9 社（以下「事業者 JV」※）および一般社団法人うめきた MMO は、大阪府・大阪市、独立行政法人都市再生機構（以下「UR 都市機構」）との公民連携により、本日 11 月 20 日（金）正午、うめきた公園ノースパーク後行工区の「うめきたの森」（約 8,400 ㎡）を開園しました。あわせて、南街区からの延伸工事を進めていた全長 350m の「ひらめきの道」も全面開通し、グラングリーン大阪の公園および各施設を、より一体的に楽しめるようになりました。

※事業者 JV の 1 社であるうめきた開発特定目的会社は、株式会社大林組が出資する SPC です。

「うめきたの森」は、生物多様性・Well-being・Innovation の 3 つの価値を実装するリジェネラティブな都市公園です。JR 大阪駅前という都心で、自然を守るだけでなく、育み、回復させていく新たな都市のあり方を提案します。

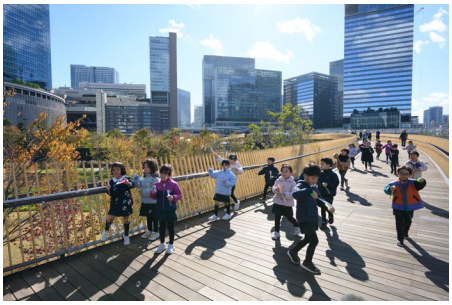
11 時頃には、開園に先立ち、近隣の幼稚園児約 20 人が「ひらめきの道」を初めて歩き、その後、吉村洋文大阪府知事、横山英幸大阪市長らをお迎えしてオープニングセレモニーを開催しました。

正午の開園を前に、一般開放を待つ来園者約 300 人超が列をつくり、開園とともに新たに誕生した緑豊かな空間を散策したり、写真撮影を楽しんだりする人々でにぎわいました。また、公園内のイタリアンカフェレストラン「AOI NAPOLI OMBRA」も開業し、うめきたエリアに新たな憩いと交流の場が誕生しました。



※左から阪急阪神不動産㈱福井、UR 都市機構倉上様、横山市長、
吉村知事、三菱地所㈱加藤、オリックス不動産㈱深谷

1. オープニングセレモニー実施



開園前、「ひらめきの道」の新たに開通した部分を、近隣の幼稚園児約 20 人が初めて歩きました。続いて「うめきたの森」で行われたオープニングセレモニーでは、事業者を代表して三菱地所株式会社の加藤博文執行役常務があいさつし、吉村洋文大阪府知事、横山英幸大阪市長、UR 都市機構の倉上卓也理事・西日本支社長にご来賓としてごあいさついただきました。

【主催者・来賓コメント】



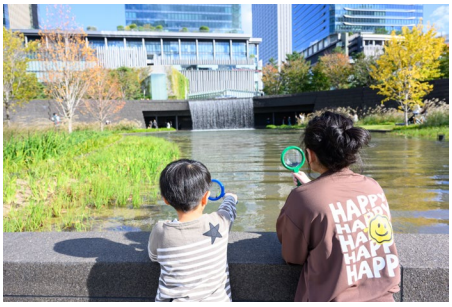
- 大阪府知事 吉村洋文：都心に生まれた豊かなみどりや水景を大阪の新たな魅力、都市の価値につなげ、次世代へ受け継いでいくことへの期待を述べました。
- 大阪市長 横山英幸：世界に広がる新たなランドマークとなったグラングリーン大阪がさらなる進化を遂げたことで、大阪がこれから一層の発展を遂げることしていくことへの期待を述べました。
- UR 都市機構 理事・西日本支社長 倉上卓也：池が災害時に緊急車両の通行に対応する機能を備え、「ひらめきの道」が避難動線にもなることを紹介し、憩いと安全・安心を支える都市基盤としての役割を強調しました。
- 三菱地所株式会社 執行役常務 加藤博文（事業者 JV・一般社団法人うめきた MMO 代表）：
  水都大阪と呼ばれるこの地に自然や生態系を再生し、新たなまちづくりの幕開けを迎えたことの喜びと、開園後も来街者の皆さまとともにまちを育てていく考えを示しました。

2. 「うめきたの森」開園



「うめきたの森」は、グラングリーン大阪のうめきた公園ノースパーク西側に整備された都市の森です。かつて梅田貨物駅だった場所に潤いある自然環境を創出し、在来種を取り入れた植栽や水辺により、生態系にも配慮した空間を創出します。

【主な特徴】



- **リジェネラティブ**：環境や社会を持続させるだけでなく、より良い状態へと再生・回復させていく考え方です。「うめきたの森」では、生物多様性、Well-being、Innovation の 3 つの価値を通じ、自然・人・都市が回復し、育ち、価値を生み続ける都市公園を目指します。
- **生物多様性**：うめきた公園では、鳥類・昆虫類 56 種を誘致目標種として設定。目標種のうち 30 種（鳥類 10 種、昆虫類 20 種）がすでに観測されています。

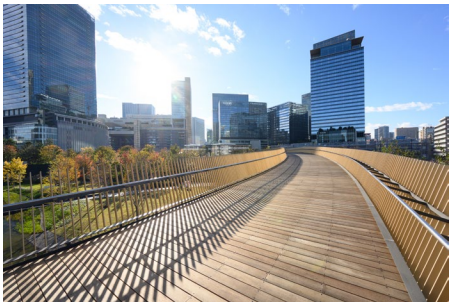
- **Well-being**：高さ約 3m のランドフォームや滝・池、水生植物などの自然環境により、都心にいながら静けさと癒やしを感じられる空間を創出します。
- **Innovation**：都市機能と自然環境との共存を実環境で検証するフィールドとして、社会課題解決や新産業創出につながる実証の場として活用していきます。

【「うめきたの森」主なスペック】

開園部分	約 8,400 ㎡
水 景	約 1,400 ㎡（滝・池など）
高 木	165 本・22 種
低木植栽	約 3,000 ㎡・83 種
芝生エリア	約 2,600 ㎡

3. 全長 350m「ひらめきの道」開通

うめきた公園サウスパークとノースパークをつなぐ全長 350m の空中回廊「ひらめきの道」も全面開通しました。南北街区の一体性と回遊性を高め、グラングリーン大阪のランドスケープを連続的に体感できる歩行空間となります。季節や時間帯によって刻々と変わるみどり豊かな風景を、一望することができます。この道を起点に、多様な風景やアクティビティとの出会いによってひらめきが生まれることを目指しています。



4. ご参考・その他

一般社団法人うめきた MMO は、レンタルサービスや参加型プログラムの展開などを通じて、来街者が主体的に公園づくりに関わる機会を広げます。企業・研究機関・スタートアップなどの実証の場としての活用も進め、市民・来街者・企業などとともに公園を育んでいきます。また、今回の開園範囲にはイタリアンカフェレストラン「AOI NAPOLI OMBRA」（株式会社バルニバービ）が開業しました。薪窯ピッツァを中心に、公園の景観を生かした飲食やテイクアウトを提供します。



2024 年 9 月の先行まちびらき、2025 年 3 月の南館グランドオープンを経て、今回の「うめきたの森」開園により、グラングリーン大阪の整備がさらに進みました。今後、2027 年春頃にはうめきた公園の残る約 2,200 ㎡を開園し、公園全体の開園を予定しています。全体まちびらきは 2028 年 3 月の予定です。

【うめきたの森全景】



【スケジュール】

- 2024 年 9 月 6 日　　先行まちびらき
- 2025 年 3 月 21 日　　南館グランドオープン
- 2025 年 12 月 9 日　　北分譲棟（グラングリーン大阪 THE NORTH RESIDENCE）竣工
- **2026 年 11 月 20 日　　「うめきたの森」開園・「ひらめきの道」全面開通**
- 2027 年春頃　　うめきた公園 全体開園（未完成エリア約 2,200 ㎡を開園予定）
- 2028 年 3 月（予定）　　南分譲棟（グラングリーン大阪 THE SOUTH RESIDENCE）竣工予定
- 2028 年 3 月(予定)　　全体まちびらき

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
オリックス株式会社　グループ広報・渉外部　TEL：03-3435-3167

＜事業者 JV プロジェクトウェブサイト＞
GRAND GREEN OSAKA